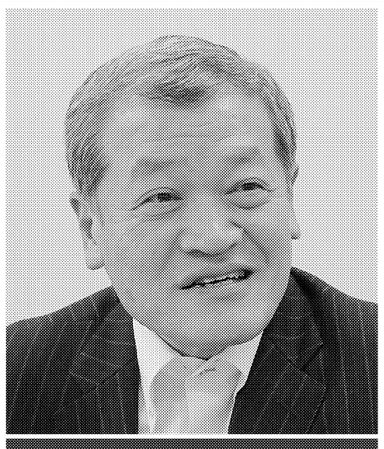
価値創造 モノづくりで存在感示す 飛躍2014 京滋の優良企業トップに聞く

オンデマンド印刷でリード パッケージ向けにも参入



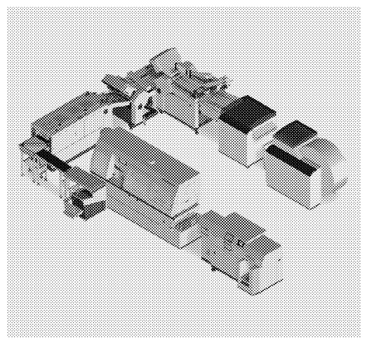
太陽精機 堀英二郎社長

―オンデマンド出版が国内外で立ち上がってきています。

「米国での動きが活発だ。たとえば書籍卸販売の会社では、自ら版権を持ちオンデマンド印刷に乗り出しており、当社の製本機も多数稼働している。アマゾンなどの台頭もあるが、出版業界全体でもこの動きは加速していくだろう。というのも書籍というのは、米国でも日本と同様に在庫の固まり。そこでキャッシュフロー経営を行うには、オンデマンド対応が避けて通れないからだ。先行する米国はソフト開発力のレベルが高く、オンデマンド出版全体のワークフローシステムもそろっている。そんな市場で鍛えられることで、当社も競争力を高めている」

―日本市場での取り組みはいかがですか。

「国内の製本機市場が今以上に成長することはないが、新しいものを投入してシェアを拡大していきたい。これまで実績がなかった出版業界向けでも、大手から文庫本の製本を請け負っている業者に導入してもらった。文庫本でも1ロットの製本冊数は少なくならざるを得ない。そのためオンデマンドでなくても、出版業界から当社の製本機が評価され始めた」



デジタル印刷向け書籍製本システム

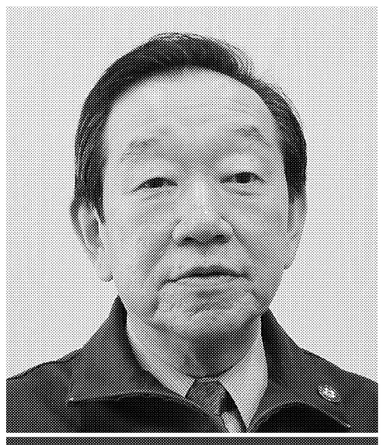
―新たな製品の開発にも積極的です。

「米ヒューレット・パッカードのB2サイズ対応デジタル印刷機向けに断裁機を開発しており、現在は米国とドイツのそれぞれで試験稼働をしているところ。複数ページが印刷された大判サイズを高精度に切断するもので引き合いは強い。今夏から量産出荷をスタートする計画だ。また出版以外の開拓も進め る。昨年5月に発売したロータリーダイカットシステムがそれで、パッケージを抜き加工するものだ。最終商品にとってパッケージによる販売効果は大きいため、印刷でもこの分野は成長を続けている」

―競争力の源泉は。

「良いモノを安く作ることに尽きる。加えて製本工程のすべての装置をそろえ、上流工程からデータを受け取って、製本するまでのワークフローシステムも独自で持っているのが強みだ」

工具領域を再定義 医療向けなど展開



KTC 宇城邦英社長

―足元の景況感は。

「2013年4―6月期は悪かったが、同7―9月期から前年同期を上回るようになった。さらに同10月以降は2ケタ増となっている。3月に向け消費増税前の駆け込み需要も現れている。グループ全体ではDIY事業から撤退し減収影響はある。ただこのような事業構造の改革を行えるほど工具部門が回復し、強い経営体質になってきた。まず営業利益率8%の達成にこだわり、近い将来の2ケタを目指したい」

―主力の工具事業をどう強化しますか。

「全社員に対して明確に打ち出しているのは工具の領域の再定義。創業時からスパナを手がけており、どうしても工具=ハンドツールと思いがちだが、もっと幅広く、奥行きも深く考えていく。たとえばインプラント手術向けトルク測定機器。売り上げに貢献するのは14年度からだが、すでに医療関係者向けの研究会の予定がビッシリ詰まっている。安全、快適、能率・効率、環境配慮で貢献し、圧倒的なナンバーワンメーカーとして進化し続けたい」

―産業用途へも市場が広がっています。

「システムを絡めて提案し、自動車整備だけでなく、産業用にも打って出る。無線による計測記録機能を搭載したデジタル式トルクレンチ『デジラチェ』メモルク』を使ったシステムは品質管理に評価されており、実際に新幹線の製造や整備で利用されている」

―商品の差別化は。

「工場見学を積極的に誘致している。工具はシンプルに見えるが、金属加工のすべてを投入している。外観は同じでも中身は全然違う。メカニックが腕をどれだけ発揮できるかは工具次第。その工具の製造でわれわれが手は抜いていないことを実感してもらいたい。それが具現化したのが12年11月発売のネプロス9・5sq.ラチェットハンドル（NBR390）。フラッグシップモデルのネプロスから、技術的にも難しい90枚ギアを採用した、工具の中の工具として商品化。プロの皆さんもうならせた。予想以上の反響だった」

作業履歴を記録するデジラチェ「メモルク」(上)と極小トルクの計測に対応したデジラチェドライバタイプ(下)

専門営業体制などで営業力強化 京都でプライベートショーも開催

片岡製作所 片岡宏二社長

―アベノミクスの効果は。

「円安は心強い。レーザー加工機や二次電池検査装置など海外向けが多い当社にとってドルやユーロ、元、ウオンが高くなるのはありがたい。以前は最初から土俵際で戦い始めていたが、今のレートでなら正々堂々と真ん中でがっぷり組んで競合と戦っている感じだ。1年前と比べ、受注は2ケタ増となっている」

―どんな分野が伸びていますか。

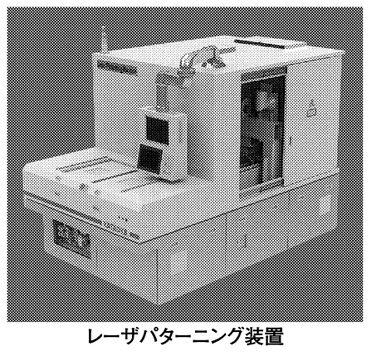
「太陽電池などクリーンエネルギー関連、自動車、半導体や電子部品など幅広い。ビジネス環境はもちろんフォローだが、スループットが高いなど付加価値の高い装置投入で需要を獲得している。例えばタブレット端末で需要が拡大しているタッチパネル向けのレーザパターニング装置だが、線幅ルールが30マイクロメートルの微細で、300ミリメートル四方の大型パネルの加工ができる『KTP―300I―2―2L/U』などは代表例で、顧客のニーズを確実につかんでいる」

―2014年に重点的に取り組むのは。

「開発やメンテナンスなど製品の技術的優位性は高いと自負している。今年はさらに営業力を高める計画だ。具体的にはまずエリアで分けていた営業体制を2月1日付で改めるる。太陽電池やタッチパネルなど薄膜系、微細加工など加工系など製品の需要や用途の専任制で、高い専門性を持った営業組織で受注機会増につなぐ。定期的に営業強化研修を開き、営業マンの専門性を養っていくつもりだ」

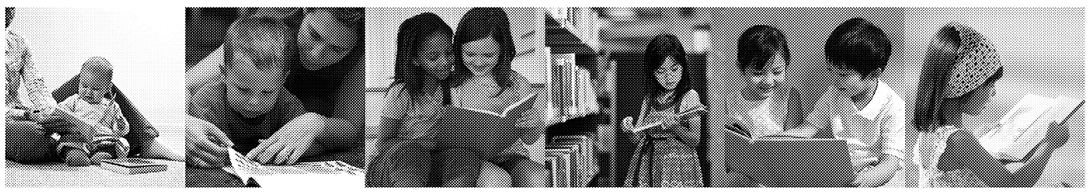
―プライベートショーも開く。

「これまでは国内外での展示会出展で技術や製品を紹介してきたが、今年秋には、京都でプライベートショーを開く計画だ。本社に近い久世工場（京都市南区）で、レーザー加工装置による実演を行い、当社の製品の性能を実地で理解してもらう。また、テスト加工は今も予約でいっぱいだ。さまざまな用途を想定して21機種のレーザー加工装置を用意、テスト加工に使えるようにしている。顧客に価値を実感してもらい、ビジネスはスムーズに進む」



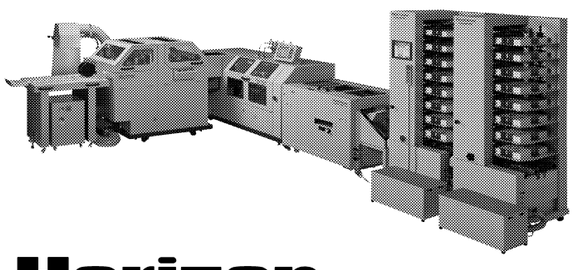
レーザパターニング装置

The World Loves Books.

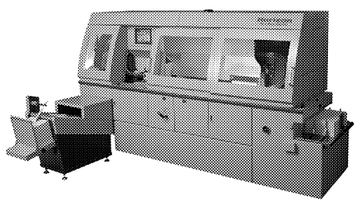


「綴じられた本」から伝わる温かみや価値は、大切に継承したい世界共通の文化です。
デジタル技術を最大限に活かした製本機械を通じて、「本」の持つ良さを大切に守っていきます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner6000
「ペラ丁合・筋入れ折り・鞍掛け中綴じ・三方断裁」という新発想のシステム。最高6,000冊/時の処理速度で、中・小ロットの仕事から大ロットの仕事まで、高速かつ効率的に処理できます。



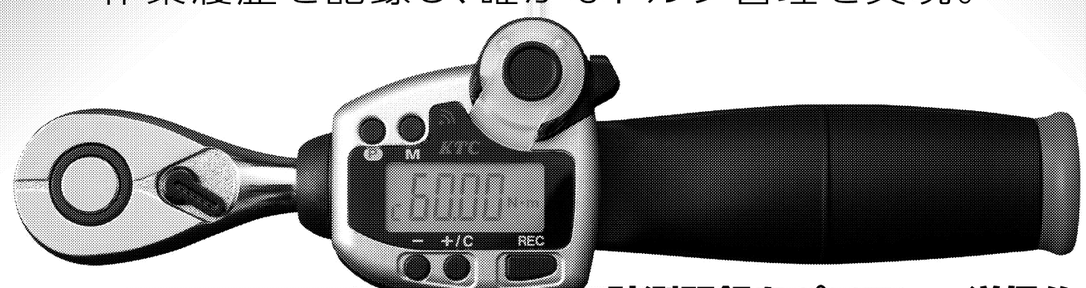
自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-470
大型タッチパネルに製本内容を入力するだけで、全てのセットアップが自動で行われます。交換式メルトタンク機構で、用途に合わせてEVAとPURの切り替えが可能になりました。
PUR対応



Horizon　www.horizon.co.jp

国内販売
株式会社ホリゾン東テクノ
[本　社] 〒132-8562 東京都江戸川区松江5-10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
[東北営業所] 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022(782)2821(代) FAX.022(782)3068
株式会社ホリゾン西コンサル
[本　社] 〒601-8206 京都市南区久世大薮町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
[九州営業所] 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112
開発・製造
太陽精機株式会社
[京都工場] 〒601-8204 京都市南区久世東土川町242 TEL.075(921)9211(代) FAX.075(934)8886
[びわこ工場] 〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭字城ノ下1600 TEL.0740(25)4567(代) FAX.0740(25)8008

KTC KYOTO TOOL
デジラチェ®［メモルク］™ 誕生
作業履歴を記録し、確かなトルク管理を実現。



計測記録をパソコンへ送信!!

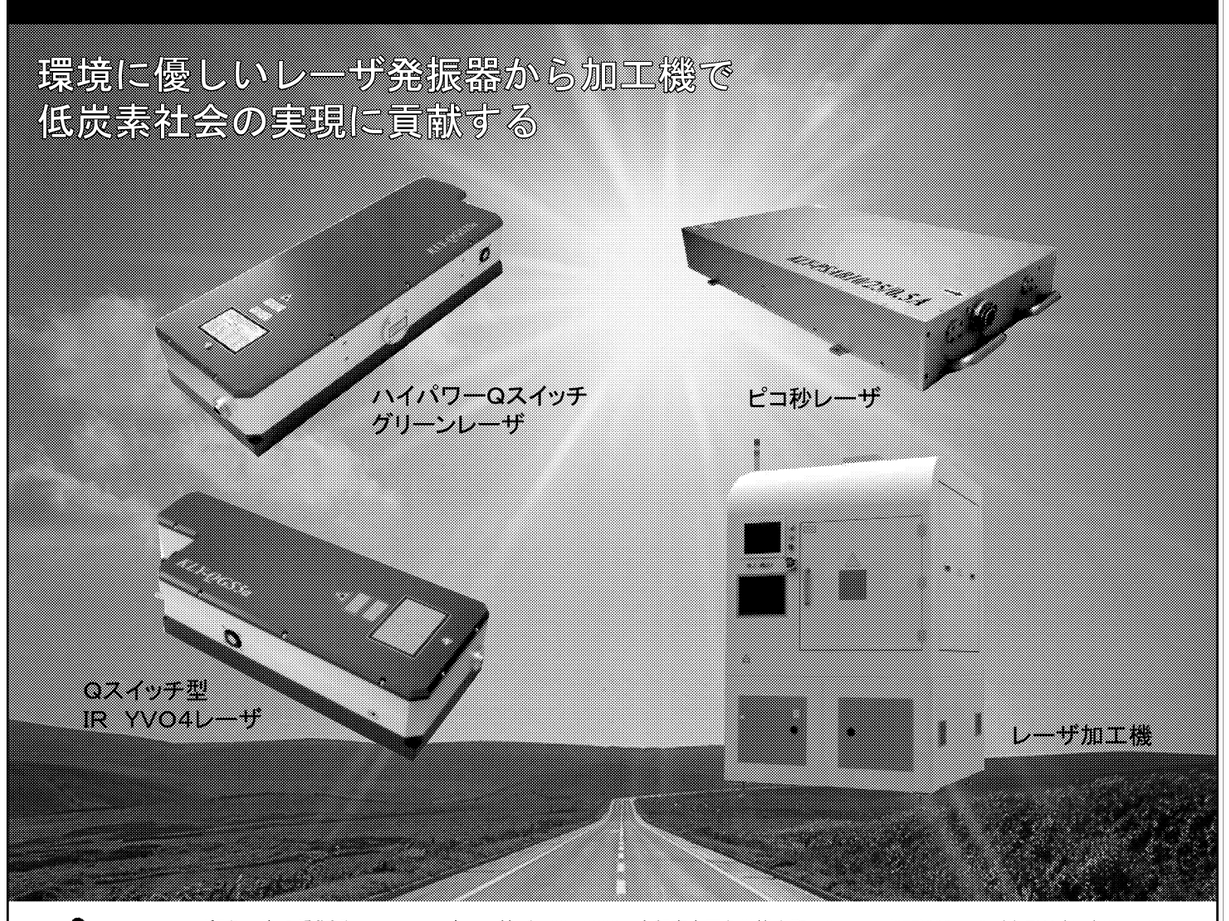
記録が残せる
ボタン1つで簡単記録
RECボタン操作で測定結果を簡単に記録。
■自動記録モードあり
■本体に200件のデータ記録が可能
PCデータはCSVでエクスポート
記録した計測結果はCSVでエクスポート可能。データを品質管理記録や保全記録として活用できます。

音と光でトルクをチェック
リング状LEDランプ採用
360°の視野を実現。音と光でトルクの状態をお知らせします。
LEDランプは識別しやすく赤(OVER)・緑(OK)・黄色(LOW)の3色に変化
より正確なトルク管理を実現
パワーセンサ搭載固定グリップの採用により、作業姿勢や習熟度にかかわらず、より精度の高いトルク管理が可能。

2つの出力方式
無線タイプ　ワイヤレスでPCに記録ができます。
USBタイプ　USBケーブルでPCに接続できます。
3つのヘッド
ラチェットヘッド　モンキヘッド　ヘッド交換式

KTC 京都機械工具株式会社　http://ktc.co.jp/　お客様窓口 ☎0774(46)4159
※電話での受付時間は午前9:00～12:00、午後1:00～5:00まで(土・日・祝日および弊社休業日を除く)
デジラチェ専用Webサイト http://digital-ratchet.jp/

レーザテクノロジーで未来を拓く
環境に優しいレーザ発振器から加工機で
低炭素社会の実現に貢献する



レーザテクノロジーで躍進する
株式会社 片岡製作所
本　社／〒601-8203 京都市南区久世築山町140 TEL:(075)933-1101(代) FAX:(075)931-1608
東京支店／〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-9依田忠ビル6階 TEL:(03)5524-3411(代) FAX:(03)3563-9710
先端レーザ研究所／〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-27 TEL:(045)477-3290(代) FAX:(045)477-3299
ホームページ http://www.kataoka-ss.co.jp